

オーストラリア生活文化体験ホームステイ



心温かなホストファミリーと一緒に

プログラム参加費 282,000円

旅行代金 156,000円

期間 2017年3月27日(月)～4月5日(水)
* 出発日の前日は、事前研修会です

対象・定員 中学校1年生～高校3年生
25名(最少催行8名)

場所 ニューサウスウェールズ州バサースト

協力 ルーラル・ツーリズム

利用航空会社 キャセイパシフィック航空

*プログラム参加費・旅行代金の詳細は『研修概要』の項目をご参照ください

プログラム

- | | |
|----------|--|
| 3/36 (日) | 夕刻 事前研修会 |
| 3/27 (月) | 午前 成田空港出発(香港乗継) |
| 3/28 (火) | 朝 シドニー空港到着
日中 シドニー市内見学
(オペラハウス・ハーバーブリッジ・動物園)
夕方 ホストファミリーとマッチング |
| 3/29 (水) | 終日 幼稚園～高校訪問
(日本文化紹介) |
| 3/30 (木) | 午前 シーモアセンター
(日本文化紹介)
午後 牧場体験、BBQランチ |
| 3/31 (金) | 終日 ケルソーハイスクール
(日本文化紹介) |
| 4/1 (土) | 終日 ホストファミリーと過ごす |
| 4/2 (日) | 終日 ホストファミリーと過ごす |
| 4/3 (月) | 午前 バサースト市内見学
(学校、病院、カレッジ、マウントパノラマ)
午後 フリータイム |
| 4/4 (火) | 朝 ホストファミリーとお別れ
午前 世界遺産ブルーマウンテン見学
午後 シドニー博物館見学、ショッピング
夜 シドニー空港出発(乗継) |
| 4/5 (水) | 午後 成田空港到着、通関後解散 |

*日本文化紹介は、学校訪問で行います。

*天候等によりスケジュールが変更になる可能性があります。



カンガルーやコアラ、ワラビーにも会えるよ!

特色

- ホームステイは1家庭に原則2名
* 全体人数が奇数の場合は、3名の家庭もあります。
- 幼稚園～老人ホームまで、幅広い世代交流
- コアラ・カンガルー・羊・ヤギなど、多種の動物と触れあえます
- オペラハウスやブルーマウンテンなど世界遺産見学

現地情報

気候 : 夏の終わりから秋の始まりで、爽やかな過ごしやすい季節です。

気温 : 最高気温 23℃ 最低気温 9℃ (3・4月)

時差 : 日本が1時間遅れています。

現地通貨 : オーストラリアドル



オペラハウスとハーバブリッジ



ワイワイ楽しいクラスメイトと休憩



老人ホームでの異世代交流



サッカーの授業

体験記

新潟県 中2 女子

この春休みにオーストラリアへ行く事にしました。親から行ってみたいという単純な気持ちからでした。出発までに日本の事を調べたり、お土産を買ったり、準備から楽しくて仕方ありませんでした。でも一方では、親と行動する事がほとんどで、本当に一人で参加が出来るのかという不安もありました。今となっては、一緒に行った友達やホストファミリーやマザーに助けられ、楽しく毎日を過ごす事が出来て、自分にも自信ができました。オーストラリアでは、まずコアラやカンガルーと触れ合いました。日本では動物園のおりの外から見るだけですが、むこうではおりの中へ入って動物に触れる事が出来ます。コアラがとっても可愛かったです。学校体験ではティータムがあって、お菓子を持って行って食べたりします。日本の学校にはないのでびっくりしました。あと、iPadも1人1台支給されていて、全員がそれを使って勉強していました。言葉は、日本語を多少話せる子もいたので、ジェスチャーや単語などでコミュニケーションが出来て、友達になれて嬉しかったです。バサーストは、すごく自然が豊かで落ちついて過ごす事ができました。ホストファミリーと過ごした休日にも、楽しくてあっという間でした。ポートに乗ったり、BBQをして過ごしました。食生活や住環境もいろいろな違いがありました。水などの資源の大切さなど、今までの自分の生活についても気づかされました。あっという間に研修は終わってしまいましたが、英語をもっと勉強して、絶対にホストファミリーに会いに行きたいです。研修に参加させてくれた親、沢山のサポートしてくれたリーダー、楽しい思い出と一緒に作ってくれた友達、お世話になったバサーストの人達に感謝したいです。

体験記

福島県 中1 男子

すべてがデカかった！今回オーストラリアに行って、そのように思った。行く前は不安な事だらけだった。「慣れない土地の食事は大丈夫か」、「ちゃんと家の雰囲気馴染めるか」など……。しかし、オーストラリアの空気は、すべての心配事を杞憂にしてくれた。まず、スケールがデカかった。ホストファミリーとスーパーに買い物に出かけた時、何気なく肉のコーナーに行ったら、肉のブロック「だけ」が置いてあった。日本でよく見かけるような肉が置いてなく、少なからずびっくりしたものである。人々の心も大きかった。スーパーで、お菓子のティムタムを買った時の事だ。支払いが終わって「Thank you.」と返すと「Have a nice day!」と一言返してくれた。「小さな優しさ」ではあるが、それがまた嬉しいものである。ほっこりした気持ちになった。もちろんホストファミリーの心も大きかった。一緒にいちごを摘んだ事、カーレースを観に行った事、美味しいランチボックスを作ってくれた事……。良い思い出ばかりだ。ただ、良い事ばかりだけではなかった。風邪を引き、みんなに迷惑をかけてしまったし、風邪が治ってなかった間は、あまり良い思い出はない。また海外に行く機会はあると思うので、その時に向けた教訓として、健康に注意することは、心の中に留めていきたい。ただ、確実に楽しかった思い出のみが、今も頭の中に残っている。日本に帰ってきた後に、途方も無い喪失感を感じた。オーストラリアは、とても魅力的な国だった事を感じた。英語力はほぼなかったのに、先輩達やリーダーに頼りっきりだった。次にオーストラリアに戻る時に備えて、日常会話が続けられるよう、英語力を鍛えていきたい。